

巻頭言

－勉強は一人でもできる？－

前部会長の推薦と部会員の方々の承認によって、2015年4月より外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会（基礎研）の部会長を務めさせて頂いております名古屋大学大学院の田村祐でございます。まずは、皆様にご挨拶申し上げます。これからも本部会をよろしく願いいたします。

さて、2013年度の報告論集の「基礎研設立に寄せて」という文章の中で、前部会長の福田純也氏は次のようにお書きになっています。

（前略）ひとことで申し上げるなら、基礎研は、「外国語教育について学びたい、基礎を見直したい」、そういう者たちの拠り所のひとつになれば、と考えています。もちろん、大学院生といった若手に限らず、門戸はどなたにでも開かれています。

「研究を志すなら、あるいは院生なら、そんなのは自分で本読んで勉強しろ」、「ググればいい」等々色々な意見はあると思います。ただし、私はそのような考えが、基礎研の存在意義を否定するものではないとは思いません。1人で勉強したい人は1人で勉強すればよいのです。ただし、世の中には1人でなんでも勉強できる人だけでもありません。勉強会があるから頑張れる、読書会があるから勉強しよう、という人もいてよいのではないのでしょうか。わからないことはわかる人に聞く、みんながわからないことはみんなで考える。それができるのも勉強会の良い所です（もちろん何でもかんでも聞けばいいわけではありませんが）。

確かに、これまでに、外国語教育研究の分野においても、統計やデータ分析に関しても、たくさんの良書が出版されています。しかし、良書さえあれば、それを勝手に読んで勉強して賢くなれる人ばかりではないのです。私には本は書けません。しかし、少なくとも勉強をしたいと思っている人たちの勉強する場を確保し、一緒に学んでいくことはできます。そして、基礎研がその場所になることはできないか、そんな風に思っています。

最後に一つ申し上げておきたいことがあります。それは、本部会は名古屋大学の院生だけのための会ではないということです。「名古屋大学の院生の、名古屋大学の院生による、名古屋大学の院生のための会」では決してありません。また、「若手の、若手による、若手のための会」でも決してありません。本部会が、「学びたい」と思う方が自由に集える場所になることを心より願っています。

田村 祐

名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程
外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会部会長